

臨床開発の New Frontier



我々はどこに進むべきか

第8回 がん新薬開発 合同シンポジウム

日時:平成30年10月5日(金)
10:00~16:00 [9:20開場]

会場:イイノホール&カンファレンスセンター
東京メトロ 霞ヶ関駅 直結

開会の言葉
浜松医科大学/国立国際医療研究センター
渡邊 裕司

第1部 新しい形の治験 (10:10~12:40)

- 抗がん剤開発の今後の動向
医薬品医療機器総合機構 野中 孝浩
- 電子カルテEDC連動システムの可能性
大阪大学大学院医学系研究科 松村 泰志
- Utilization of real world data
武田薬品工業株式会社 Hui Huang
- Patient-centered remote 治験
ノバルティスファーマ株式会社 松島 総一郎
- アカデミアの立場から:
SCRUM-Japanレジストリでの新しい取り組み
国立がん研究センター東病院 大津 敦

トピックス

- 中国医療事情:海南省医療特区のケースと展望
日本千博株式会社 早川 泰雄

入場
無料

事前
登録制



8月中旬より受付開始
<http://atdd-frm.umin.jp/>
(定員になり次第締め切ります)

主催:

- ・国立がん研究センター東病院 大津 敦

協力:

- ・浜松医科大学/国立国際医療研究センター 渡邊 裕司

後援:

- ・抗悪性腫瘍薬開発フォーラム

協賛:

- ・日本医療研究開発機構

お問い合わせ:

- ・がん新薬開発合同シンポジウム事務局
souki-symposium@east.ncc.go.jp

第2部 アジアにおける開発体制 (13:30~15:50)

- Recent regulatory changes in China and their impacts to the clinical trials –from CRO standpoint
Syneos Health (China) Yuanjing Xu
- 中国における抗がん剤開発 今と昔
コーヴァンス・ジャパン株式会社 高野 哲臣
- アジアにおける開発体制—企業の立場から
ファイザー株式会社 廣橋 朋子
- アジアでの治験に関する国際規制環境—規制当局の立場から
医薬品医療機器総合機構 安田 尚之
- 早期臨床開発の変化と今後の方向性
国立がん研究センター東病院 土井 俊彦

閉会の言葉

国立がん研究センター東病院
大津 敦